

「平成28年安全大会」開催

平成28年6月24日(金)川越氷川会館に於いて、「株式会社電成社 平成28年安全大会」を開催しました。当日は、弊社社員と協力業者様をあわせて、129名が参加しました。

冒頭、山口社長より、安全に対する意識を常に持つことの重要性を強調されました。

また、菅田安全委員長からは建設業における死傷、死亡災害の発生件数の数値が具体的に示され、さらに弊社の無事故記録の更新は、皆さんの普段の高い安全意識の成果であるとの話がありました。

そして安全委員会メンバーからは、プロジェクターを使用して、1年間の活動報告がされました。



次いで、今回特別にご臨席賜りました川越警察署交通課長 中嶋様より最近の交通事故発生状況についてご講話をいただきました。現在埼玉県は交通事故発生件数が全国ワースト3位であること、事故原因は前方不注意が全体の約7割を占め、交差点での事故発生が多いことなどを紹介されました。また通勤、現場移動の時間帯に事故が多いことにもふれ、集中力散漫にならないよう注意喚起されておりました。

さらに、3名の従業員が永年勤続表彰を、また労働災害防止等総合評価の高かった現場作業所における現場代理人及び職長に対して特別表彰が行われました。

そして、基本指針と安全衛生管理目標が発表され、参加者全員の安全に対する意識を高めました。

《基本指針》

「あなたのまわりの見えない危険、みんなで見つける安全管理」

《安全衛生管理目標》

みんなで見つけて、みんなで守る。「声かけ作業」でゼロ災害を目指す。



後半は、順天堂大学教授であり、免疫学の第一人者としてご活躍されている奥村 康さんを講師としてお招きし「まじめは寿命を縮める！「不良」長寿のすすめ～働く人たちの目からウロコの健康裏話～」の演目で講演していただきました。一般の人では想像出来ない着眼点から、データを用いて常識を覆すお話を次々と展開し、笑いや驚嘆の声があふれながらのあっという間の90分間でした。特に心の医学、例えば声を出して笑う、考えすぎないことが体の免疫力向上につながる、と強調されていました。

講演後には、規則正しい生活を心がけ、また、ストレスをためないようにしようとの声がかれました。

